

《令和3年度 子ども未来部 組織目標の達成状況》

◆目標管理者  
部長 金森 敏行

**主** 令和3年度当初予算概要「主な事業の概要」に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

1. 現状認識  
(重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)

1 <子育て総合相談窓口の充実、母子保健サービスの充実>  
少子化や核家族化、都市化と地域関係の希薄化、転入家庭など周囲の支援が得られない家庭が多く、また若年・高齢出産の増加等により、子育て家庭の抱える課題も多岐に渡っており、育児不安等を訴える方も増加しています。

2. 重点目標

① 妊娠から子育てに関する不安を解消するとともに切れ目ない支援につなげるため、子育て支援施設とも連携して相談しやすい環境づくりに努め、継続的な支援を円滑に実施できるよう関係機関で情報連携に努めます。  
また、転入家族や核家族といった家庭を含め、周囲の支援が得にくい家庭が安心して子育ての悩み等を相談できるよう、総合相談の充実に努めます。

3. 目標達成のための取組と成果目標

【取組】  
・出産を希望する世帯を支援するため、高額な医療費がかかる特定不妊治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、子どもを産みやすい環境の充実に努めます。  
・子育て支援の取組を市民に十分認識されるよう、総合相談窓口の周知・啓発に努めます。  
・関係機関との情報連携の強化により情報の把握に努め、継続的な支援の実施により妊娠期からの切れ目ない支援を実施し、子育て不安の軽減を図ります。  
特定不妊治療助成事業(事業費 18,360千円)  
総合相談事業(事業費 4,337千円)  
養育支援訪問事業(事業費 3,712千円)  
妊娠・出産包括支援事業(事業費 5,425千円)

① 【成果目標】  
「切れ目ない子育て支援」についての市民の満足度 27.8% (令和2年度実績 26.8%)

4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組  
【年度末実績】

**主** 【取組実績】  
・出産を希望する世帯を支援するため、特定不妊治療助成の補助対象者を拡充し、治療費の一部を助成しました。  
申請者数(実)184人、(延)276人、助成額 10,832千円  
・個別支援プランを通じて、ケースごとにきめ細やかな支援を実施するとともに、コロナ禍でも対応可能な相談手法としてオンライン相談の導入を行い、広く周知・啓発を行いました。また、母子健康手帳交付しやすいか訪問の機会や医療機関へのポスター掲示等を通じて、総合相談窓口の周知・啓発に努めるとともに、子育てしやすいまちづくりのために、広くマタニティマークやベビーカーマークについて、特定健康診査の集団健診会場において周知・啓発を行いました。  
総合相談件数 2,265件(R2 2,226件)  
・家庭児童相談室等関係機関との連携のなかで、虐待リスクの早期把握に努めるとともに、学区担当保健師により課題のある子育て家庭に対してこまめに丁寧な関わりを持つことで、効果的な継続支援を行うことができました。  
リスクアセスメント会議 令和3年度開催数・・・11回(R2 11回)  
養育支援会議 令和3年度開催数・・・24回(R2 24回)  
養育支援訪問件数・・・延べ 283件(R2 199件)

① 【成果目標実績】  
・「切れ目ない子育て支援」についての市民の満足度 22.9% (令和2年度実績 26.8%)

2 <子ども・子育て支援、ネットワークの充実>  
・核家族化やコミュニティの希薄化等により周囲の支援が得られにくい環境のなか、子育て家庭の抱える課題も多岐に渡っており、子育てに対し不安や負担を抱えている保護者が増加しています。  
・「第二期草津市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育て支援に係る現状とニーズを踏まえ、今後の幼児期の教育・保育や地域子育て支援事業の計画的な整備と、本市の子どもへの健やかな育ちと子育てを支援する環境の確保を図っています。

② ・子育て家庭の孤立を防ぎ、気軽に子育て中の親子が交流できるよう、集える場を整えるとともに、子育て情報が取得できる取り組みを進めます。  
・子育て応援支援を行い、子育ての負担感の軽減と家庭の孤立防止を図ります。  
② ・安心して子どもを産み、子育てしやすいまちを推進するため、計画にかかる事業の実施状況および重点的な取組事項の数値目標について、進捗管理を行います。

【取組】  
・子育て支援拠点施設を運営します。  
ミナクサ☆ひろば、ココクル♡ひろば(事業費 55,014千円)  
・子育て支援センターを運営します。  
地域子育て支援センター2箇所(みのり・モンチ)(事業費 16,304千円)  
・子ども家庭総合支援拠点親子交流スペースを運営します。  
ぽかぽかタウン(事業費 12,760千円)  
② ・つどいの広場くれよんを運営します。(事業費 4,086千円)  
・児童館の運営を支援します。  
笠縫東児童センター(事業費 9,407千円)  
・子育て支援拠点施設において、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底するため、必要な物品等の購入を行います。(120千円)

【成果目標】  
地域子育て支援拠点事業での年間延べ利用者数 98,602人(令和2年度実績 48,569人)

③ 【取組】  
・1歳までの乳幼児を養育している家庭に、子育て応援ヘルパーを派遣します。また、特に子育ての負担の大きい多胎児を養育する家庭には、子どもが3歳になるまでに拡大し、利用を勧めます。  
多胎児家庭ホームヘルパー派遣事業(事業費 2,412千円)  
草津っ子サポート事業(事業費 818千円)

③ 【成果目標】  
・多胎児家庭ホームヘルパー派遣事業  
791時間 (令和2年度 407.5時間)  
・草津っ子サポート事業  
276時間 (令和2年度 172時間)

**主** 【取組実績】  
令和3年5月に新たにココクル♡ひろばを開設し、各中学校圏域に1ヶ所子育て支援施設を整備しました。  
また、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、施設の休館や利用定員に上限を設けながらの運営を行い、消毒作業等をこまめに実施し、安心して相談および親子交流ができるよう、適正な施設運営に努めました。一部利用者数が減少した施設はあるものの、ココクル♡ひろばの開設もあり、全体として昨年度よりも利用者数は増加しました。

② 【成果目標実績】  
・利用者実績  
子育て支援センター 7,923人(R2 14,630人)  
地域子育て支援センター 2箇所 6,878人(R2 8,161人)  
つどいの広場 1箇所 1,754人(R2 1,441人)  
ミナクサ☆ひろば 28,319人(R2 24,337人)  
ココクル♡ひろば 27,549人(R2 実績なし)  
合計 72,423人(R2 48,569人)

・相談実績  
子育て支援センター 131件(R2 160件)  
地域子育て支援センター 2箇所 53件(R2 49件)  
つどいの広場 1箇所 15件(R2 18件)  
ミナクサ☆ひろば 84件(R2 101件)  
ココクル♡ひろば 92件(R2 実績なし)  
合計 375件(R2 328件)

**主** 【取組実績】  
1歳まで(草津っ子サポート事業)および3歳まで(多胎児家庭ホームヘルパー派遣事業)の乳幼児を養育している家庭に子育て応援ヘルパーを派遣し、子育てへの負担や不安の軽減を図りました。  
③ ・多胎児家庭ホームヘルパー派遣事業(事業費:1,893千円)  
草津っ子サポート事業(事業費:871千円)

③ 【成果目標実績】  
・多胎児家庭ホームヘルパー派遣事業(16世帯 675時間)  
・草津っ子サポート事業(136世帯 295時間)

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	

2. 重点目標	

3. 目標達成のための取組と成果目標	
④	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て会議を開催し、「第二期草津市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理を行います。(事業費 1,228千円)</li> <li>経済的理由で結婚に踏み出せない世帯を対象に、結婚に伴う新生活に必要な住居費用や引っ越しに係る費用を支援します。(事業費 16,343千円)</li> </ul> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て会議の開催回数 2回(令和2年度 2回)</li> <li>結婚新生活支援 30組(令和2年度 18組)</li> </ul>

4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組 【年度末実績】	
④	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て会議を開催し、『第二期子ども・子育て支援事業計画』の進捗管理と就学前教育・保育施設の利用定員設定等に対する意見聴取を行いました。(事業費 818千円)</li> <li>結婚新生活支援補助金を交付し、新生活への支援を行いました。(事業費 19,038千円)</li> </ul> <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て会議の開催回数 2回(令和2年度 2回)</li> <li>結婚新生活支援 49組(令和2年度 18組)</li> </ul>

③	<p>&lt;質の高い就学前教育・保育の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達や特性に応じた質の高い就学前教育・保育の一体的な提供と、優秀な保育人材の確保・育成を推進し、子育て期の保護者が安心して仕事と子育てを両立できるよう支援する必要があります。</li> <li>草津市における「就学前教育・保育の質の向上」を図るため、小学校や民間保育園等とのさらなる連携を図り、小学校への円滑な接続や教育・保育内容の充実を図る必要があります。</li> </ul>
---	--

③	<ul style="list-style-type: none"> <li>質の高い就学前教育・保育を提供します。</li> <li>優秀な人材の確保と育成体制の強化を行います。</li> <li>学校教育への円滑な接続を目指します。</li> </ul>
---	---

⑤	<p>質の高い就学前教育・保育の提供</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの保育者が多様な保育ニーズに対応できるよう、実践力のある保育者としての専門性がより高められるような研修を実施します。</li> <li>乳幼児の発達や特性に合わせた効果的な運動遊びを工夫し、幼児が自発的に楽しく体を動かしたり、多様な動きを身に着けることができるよう運動プログラムを作成します。また、本モデル事業を通して、職員の指導力の向上や保護者の意識向上を目指します。</li> <li>新しい保育指針や教育・保育要領の趣旨を踏まえ、既存の草津市就学前教育・保育カリキュラムを見直します。</li> <li>地域ぐるみで子どもの育ちを保障する環境づくりを行うため、昨年度作成したリーフレットを活用した職員研修を実施し、職員の資質向上に努めます。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図るため、衛生用品や備品等の購入を行います。</li> <li>病気等で保育所等に通えない児童を一時的に預かり、子育て期の保護者が安心して仕事と子育てを両立できるよう支援します。(事業費 34,406千円)</li> </ul> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修会実施(年10回程度)</li> <li>幼児期の運動遊びプログラムの作成</li> <li>草津市就学前教育・保育カリキュラムの見直し</li> <li>「心豊かでたくましい子どもの育成」～乳幼児期の豊かな体験を未来につなぐ～啓発リーフレットを活用した研修会の実施</li> </ul>
---	--

⑤	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病気等の児童を一時的に保育することで、子育て期の保護者が安心して仕事と子育てを両立できるよう支援しました。(事業費 27,722千円)</li> <li>新型コロナウイルス感染症に配慮し、感染対策を徹底した集合形式の研修と合わせて、ZOOMを活用した研修を行い、専門性の向上に努めました。</li> <li>主体的に体を動かすための運動遊びや保育内容の工夫を行うことができるよう、乳幼児の発達の特性に応じた運動遊びプログラムを策定しました。</li> <li>新しい保育所保育指針、教育・保育要領のポイントとなる「資質能力の3つの柱」、「乳児保育の3つの視点」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、草津市就学前教育・保育カリキュラムを改訂しました。</li> <li>公立および私立の就学前教育・保育施設の職員に対し研修資料としてリーフレットを配布するとともに、園内でリーフレットを活用した職場研修を行い、職員の資質向上に努めました。</li> <li>園児が安心して過ごすことのできる環境を整えるため、マスクや消毒液といった消耗品に加え、検温のためのサーマルカメラを購入し、多人数を効率よくスクリーニングできるよう感染対策に努めました。</li> </ul> <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修回数 年間12回</li> <li>運動プログラムの策定</li> <li>2・3歳児:14種目 例【くだもの体操(バランス、リズム)】</li> <li>4・5歳児:9種目 例【ボール遊び(協調性、想像力)】</li> <li>草津市就学前教育・保育カリキュラムの改訂</li> <li>啓発リーフレットを配布 500部(公立・私立保育施設および小学校に配布)</li> <li>公立の園長会において研修会を実施</li> </ul>
---	---

⑥	<p>優秀な人材の確保と育成</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの経験年数や職責に合わせた保育者育成指標に基づき、より専門性と実践力のある人材の育成を図ります。</li> <li>県内の自治体と協働し、保育人材の効果的な育成や確保に取り組みます。</li> </ul> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育者育成指標に係る職員研修の実施</li> <li>滋賀県待機児童対策協議会への参画</li> </ul>
---	--

⑥	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に作成した、「保育者育成指標」に基づき、各施設長に対して研修会を行い、当該研修を基に、各園・所内で研修を実施し、人材育成の推進に努めました。</li> <li>公立の保育施設では、滋賀県保育士協議会主催による就職フェアへの参加や、保育所の入園時期に合わせた採用試験を実施するなど、積極的な人材確保に努めました。また、私立の保育施設では、保育士トライアル研修を開催し、保育士の魅力の発信を行いました。</li> </ul> <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育者育成指標を用いた研修会の開催、保育士トライアル研修の開催</li> <li>待機児童対策協議会への参画(6回)</li> </ul>
---	---

⑦	<p>学校教育との円滑な接続</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼小の連携を強化し、それぞれの学びがつながるよう、新学習指導要領等を踏まえ、既存の接続期カリキュラムの見直しを行います。</li> <li>円滑な学校教育との接続をめざし、就学前教育・保育施設において育んでおきたい力を明確にするとともに、それらを保育実践につなげていきます。</li> </ul> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接続期カリキュラムの見直し</li> <li>「学びをつなぐ幼小接続」～子どもの学びと育ちをつなぐ～啓発リーフレットを活用した職員研修会の実施</li> </ul>
---	--

⑦	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生の授業参観や幼小合同研修会を通して、子どもの育ちや学びについて交流を行い、接続期カリキュラムの見直しに向けて取り組みました。</li> <li>「子どもの学びと育ちをつなぐチェックシート」を作成し、就学までに育みたい力を明確化し、保育に活用しました。</li> </ul> <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼小合同研修会を開催</li> <li>「子どもの学びと育ちをつなぐチェックシート」を活用し、新規採用職員と入庁3年目の職員に対し研修会を開催</li> </ul>
---	--



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>4 &lt;就学前教育・保育施設の整備&gt; (待機児童の解消) 「子ども・子育て支援新制度」では、支援の量の拡充を求めており、本市では、これまで保育需要の増加に対応するため、草津市子ども・子育て支援事業計画に基づき、施設整備による定員増を図ってきました。計画上保育需要のピークは令和4年4月であり、その需要を賅うための施設整備を令和2年度までに完了し、令和3年4月に必要な定員を確保しました。一方で待機児童の解消には、保育の担い手である保育士の確保が喫緊の課題であることから、保育士の就業継続および離職防止を図り、保育士が働きやすい環境を整備するため支援を行う必要があります。</p>	<p>④ (待機児童の解消) 第二期草津市子ども・子育て支援事業計画に基づき必要な保育定員の確保を図りましたが、待機児童の解消には保育士等の安定的な確保が必須であることから、処遇改善事業等の取組を推進します。</p>	<p>⑧ 【取組】 ・保育士確保対策として、私立認可保育所等を対象に支援を行います。 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金(事業費25,476千円) 保育体制強化事業補助金(事業費41,760千円) 保育士等処遇改善費補助金(事業費76,027千円) 保育補助者雇上強化事業補助金(事業費50,862千円) ・安定的な教育・保育の提供に向けて、私立認可保育所等において新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底するため、必要な物品等の購入等に対して支援を行います。 保育環境改善等事業補助金(事業費21,600千円) 運営補助金(延長保育・一時預かり特例措置分)(事業費12,300千円)</p> <p>【成果目標】 ・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金 18施設、38人(令和2年度 13施設、27人) ・保育体制強化事業補助金 24施設(令和2年度 18施設) ・保育士等処遇改善費補助金 27施設(令和2年度 23施設、843人) ・保育補助者雇上強化事業補助金 26施設、33人(令和2年度 13施設、22人) ・保育環境改善等事業補助金 54施設(令和2年度 47施設) ・運営補助金(延長保育・一時預かり特例措置分) 延長保育 41施設、一時預かり 12施設(令和2年度 延長保育 20施設 一時預かり 8施設)</p>	<p>主</p> <p>⑧ 【取組実績】 ・保育士確保対策として、私立認可保育所等を対象に支援を行いました。 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金(事業費18,209千円) 保育体制強化事業補助金(事業費24,383千円) 保育士等処遇改善費補助金(事業費71,462千円) 保育補助者雇上強化事業補助金(事業費27,150千円) 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金(事業費19,122千円) ・安定的な教育・保育の提供に向けて、私立認可保育所等において新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底するため、必要な物品等の購入等に対して支援を行いました。 ・<u>保育環境改善等事業補助金(事業費21,110千円)</u> ・<u>運営補助金(延長保育・一時預かり特例措置分)(事業費9,344千円)</u></p> <p>【成果目標実績】 ・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金 13施設40人、18,209千円 ・保育体制強化事業補助金 20施設、24,383千円 ・保育士等処遇改善費補助金 27施設、950人、71,462千円 ・保育補助者雇上強化事業補助金 19施設 28人、27,150千円 ・保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金 54施設 1,147人 19,122千円 ・<u>保育環境改善等事業補助金 53施設、21,110千円</u> ・<u>運営補助金(延長保育・一時預かり特例措置分)</u> 延長保育 26施設、5,348千円 一時預かり 16施設、3,996千円</p>
<p>5 &lt;就学前教育・保育施設の整備&gt; 子ども・子育て支援新制度において、認定こども園の普及が推進されており、保育所における待機児童の発生や幼稚園における定員割れ、3歳児の未就園層に対する幼児教育の提供等の本市の抱える課題を解決するためにも、子どもの視点に立った質の高い幼児教育と保育の一体的提供(幼保一体化)に向け、認定こども園を推進することが求められています。</p>	<p>⑤ 第二期草津市子ども・子育て支援事業計画に基づき、質の高い幼児教育と保育の一体的な提供に向けて、公立幼稚園の認定こども園化に向けた施設改修に取り組みます。</p>	<p>⑨ 【取組】 ・(仮称)矢倉認定こども園整備工事を実施します。 (事業費397,696千円 ※うち、令和2年度予算明許繰越費 322,976千円) ・常盤こども園の既存棟改修工事を実施します。 (事業費106,532千円 ※令和2年度予算繰越明許費)</p> <p>⑨ 【成果目標】 ・(仮称)矢倉認定こども園整備工事を完了します。 (令和2年度実施設計、仮設園舎建設、令和3年度既存棟改修・一部解体および増築棟建設工事、駐車場整備工事、仮設園舎賃借) ・常盤こども園の既存棟改修工事を完了します。 (令和元年度増築棟建設工事、令和2年度修正設計、令和3年度既存棟改修工事)</p>	<p>主</p> <p>⑨ 【取組実績】 ・<u>矢倉こども園の既存棟改修・一部解体および増築棟建設、駐車場整備工事を実施しました。(事業費362,100千円)</u> ・<u>常盤こども園の既存棟改修工事を実施しました。(事業費104,009千円)</u></p> <p>⑨ 【成果目標実績】 ・<u>矢倉こども園の既存棟改修・一部解体および増築棟建設、駐車場整備工事を完了し、令和4年4月に開園しました。</u> (定員100人、うち保育定員40人) ・<u>常盤こども園の既存棟改修工事を完了しました。</u> (定員85人、うち保育定員22人 令和2年度開園済)</p>
<p>6 &lt;児童虐待の防止と早期発見・早期対応&gt; 全国的に、児童虐待相談対応件数の増加や重篤な児童虐待事件が後を絶たないなど、児童虐待は深刻な社会問題となっています。草津市においても児童虐待相談対応件数は年々増加しており、コロナ禍による経済不安や家庭環境の変化など、子どもを取り巻く環境はこれまで以上に見守りと適切な支援が必要とされる状況にあります。児童虐待を未然に防止し、早期発見・早期対応を行う支援体制のさらなる強化が求められています。</p>	<p>⑥ 児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応のために、妊娠期からの継続的な支援が行えるよう子ども家庭総合支援拠点を設置し、相談・支援窓口の充実に努めます。また、迅速かつ適切な支援を行うため、要保護児童対策地域協議会における関係機関連携の強化を図ります。</p>	<p>⑩ 【取組】 子ども家庭総合支援拠点での母子保健・家庭相談主管課の連携強化に併せ、要保護児童対策地域協議会における関係機関連携強化に努めます。市民・関係機関に向けた児童虐待防止のための広報啓発や「体罰によらない子育て」講座開催に取り組みます。 (家庭児童相談事業費 48,001千円)</p> <p>【成果目標】 ⑩ 要保護児童対策地域協議会(代表者会議)の開催回数 2回(令和2年度 2回) ・児童虐待防止の啓発研修の実施回数 1回(令和2年度 1回) ・養育支援会議の開催回数 24回(令和2年度24回) ・「体罰によらない子育て」の学びの提供 ①CAP研修の開催回数 5回(令和2年度 4回) ②保護者向けCSP連続講座、サポート講座の実施回数 7回(令和2年度 6回) ③子育てサポーター(オレンジメイト)育成のための基礎講座の実施 参加人数 10人(令和2年度 4人)</p>	<p>⑩ 【取組実績】 ・子ども家庭総合支援拠点を設置し、母子保健と児童福祉の連携について強く意識し、定期的に情報共有およびアセスメントの会議を開催する中で、適切な支援につなげました。要保護児童対策地域協議会の会議運営により、関係機関連携の強化を図りました。また、地域での見守り体制の強化を図るため、民生委員・児童委員への研修会の実施や広報啓発、各種講座の開催を通じて、児童虐待防止の啓発を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 ・要保護児童対策地域協議会(代表者会議)の開催 1回 7/28(※2/7はコロナ感染防止のため開催せず、資料による啓発と意見聴取を行いました。) ・児童虐待防止の啓発研修の開催 1回 ・養育支援会議の開催 24回 ・「体罰によらない子育て」の学びの提供 ①CAP(様々な暴力から子どもの心とからだを守る暴力防止プログラム)研修の開催 2回 ②保護者向けCSP(子どもへの適切なコミュニケーションの取り方やしつけの仕方学ぶプログラム)連続講座、サポート講座の実施 4回 ③子育てサポーター(オレンジメイト)育成のための基礎講座 参加人数 3人</p>





